

Ⅷ. 特別勘定に関する指標等

Ⅷ-1 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	2005年度末	2006年度末
	金 額	金 額
個人変額保険	12,565	12,362
個人変額年金保険	—	—
団体年金保険	42,495	45,185
特別勘定計	55,060	57,547

Ⅷ-2 個人変額保険特別勘定資産の運用の経過

2006年度の資産運用概況

イ. 運用環境

2006年度の日本経済は、公的需要の減少や海外需要に頭打ちの兆しが見られるものの、個人消費や設備投資が堅調な伸びを維持するなど、民需主導の緩やかな回復を続けました。

米国経済は、FRB（米連邦準備制度理事会）がインフレ懸念を表明する一方で、サブプライム住宅ローン（信用度の低い借り手への住宅ローン）の延滞率が上昇したことが注目され、景気減速懸念が強まりました。

欧州経済は、ドイツを中心にユーロ圏における景気回復局面が続く、インフレ懸念からECB（欧州中央銀行）が利上げ継続姿勢を鮮明にする展開となりました。

ロ. ファンドの運用実績

2006年度の国内株式市場は、企業の控えめな業績予想や原油高を背景に6月半ばまで下落基調で推移した後、世界的な株価上昇や金融政策に対する不透明感の払拭から上昇に転じ、昨年度末とほぼ同水準で期末を迎えました。国内債券市場は、日銀による追加利上げの時期を巡り、当初は1.9%を挟んでの展開が続きましたが、8月に発表された消費者物価指数の伸び率が基準改定の影響から大きく低下したことで追加利上げ観測が後退したため、長期金利は総じて低下基調での推移となりました。外国為替市場では、アジア通貨に対する柔軟性が求められたことで円高・ドル安が進行する場面もありましたが、日銀による追加利上げ観測が後退すると、再び金利差に注目が集まり、円安傾向に転じました。このような環境の中、外貨建資産の好パフォーマンスや国内株式における銘柄選択効果がファンドの収益に貢献し、2006年度の収益率は+6.24%、1986年11月1日の運用開始以来の収益率は+108.83%（年率換算+3.67%）となりました。

ハ. 今後の運用方針

将来の保険金のお支払いに備えるため、リスクコントロールを図りながら、「財産の長期的な成長」を目指します。運用においては資産配分を重視し、中長期的な

マクロ経済分析に基づき、最適なアセットミックスを決定します。また、国際分散投資を図るため、市況・為替動向にも留意しつつ外貨建有価証券への投資を継続していきます。

国内債券については、日銀による追加利上げタイミングに注目が集まる中、消費者物価指数の下落が続くことも予想され、金利上昇余地は限定的と思われる。デュレーションは短めを基本戦略としますが、ウェイトは現状を維持する方針です。

国内株式については、国内景気の安定的拡大、M&Aの増加、株主還元の積極化を背景に堅調な相場が続くとの見方を継続しており、引き続き現状のウェイトを維持する方針です。

外国債券については、引き続きサブプライム住宅ローンの延滞率が上昇していることが注目され、景気減速懸念が煽る一方、インフレリスクも払拭されず、長期金利が現行水準を挟んだ展開となることを見込み、現状の資産配分を維持する方針です。

外国株式については、サブプライム住宅ローン問題や、インフレ懸念など、マクロ面での不安定要素はあるものの、企業の生産性向上と強固なバランスシートに裏付けられた高い企業収益を背景に安定した相場展開を見込んでおり、現状の資産配分を維持する方針です。

VIII - 3 個人変額保険の状況

(1) 保有契約高

(単位：件、百万円)

区 分	2005年度末		2006年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
変額保険(有期型)	33	64	29	63
変額保険(終身型)	4,362	15,248	4,124	14,941
合 計	4,395	15,312	4,153	15,005

(2) 年度末個人変額保険特別勘定資産の内訳

(単位：百万円、%)

区 分	2005年度末		2006年度末	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
現預金・コールローン	289	2.3	523	4.2
有 価 証 券	11,573	92.1	11,270	91.2
公 社 債	3,180	25.3	3,083	24.9
株 式	4,203	33.5	3,983	32.2
外 国 証 券	4,189	33.3	4,204	34.0
公 社 債	1,537	12.2	1,600	13.0
株 式 等	2,652	21.1	2,603	21.1
その他の証券	—	—	—	—
貸 付 金	—	—	—	—
そ の 他	701	5.6	567	4.6
貸 倒 引 当 金	—	—	—	—
合 計	12,565	100.0	12,362	100.0

(3) 個人変額保険特別勘定の運用収支状況

(単位：百万円)

区 分	2005年度	2006年度
	金 額	金 額
利息配当金等収入	208	203
有価証券売却益	1,308	161
有価証券償還益	0	3
有価証券評価益	1,374	965
為 替 差 益	0	0
金融派生商品収益	—	—
そ の 他 の 収 益	0	0
有価証券売却損	196	539
有価証券償還損	2	4
有価証券評価損	127	71
為 替 差 損	—	—
金融派生商品費用	—	—
そ の 他 の 費 用	0	0
収 支 差 額	2,565	718

(4) 個人変額保険特別勘定に関する有価証券等の時価情報

① 売買目的有価証券の評価損益

(単位：百万円)

区 分	2005年度末		2006年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた 評 価 損 益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた 評 価 損 益
売買目的有価証券	11,573	1,247	11,270	894

(注) 本表には、「金銭の信託」等の売買目的有価証券を含みません。

② 金銭の信託の時価情報

該当事項はありません。

③ 個人変額保険特別勘定のデリバティブ取引の時価情報

(ヘッジ会計適用・非適用分の合算値)

イ. 差損益の内訳(ヘッジ会計適用分・非適用分の内訳)

該当事項はありません。

ロ. 金利関連

該当事項はありません。

ハ. 通貨関連

該当事項はありません。

ニ. 株式関連

該当事項はありません。

ホ. 債券関連

該当事項はありません。

ヘ. その他

該当事項はありません。